

空き店舗を活用して病後児保育施設を設置。商店街の活性化と子育て支援の2つの要素を満たす。

にこにこ星ふちのべ協同組合

社会福祉法人さがみ愛育会

機関名	にこにこ星ふちのべ協同組合、社会福祉法人さがみ愛育会			
所在地	神奈川県相模原市淵野辺3-7-20			
電話番号	042-755-2525			
地域概要	(1)管内人口 淵野辺地区 55千人	(2)管内商店街数	9商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	1商店街	(2)会員数	72商店
	(3)空き店舗率	4.0%	(4)大型店空き店舗数	0
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（保育サービス施設）
 ・病後育児施設の設置、運営
 総事業費 3,600千円

【事業実施内容】

1. 背景

相模原市は、神奈川県北部に位置し、相模川に沿って北西から南東に広がっており面積は90.4k㎡である。東京まで40km、横浜まで30kmという地理的条件等により、ベッドタウンとして人口増が続いており、平成17年9月時点で人口は約62万7千人である。

相模原市では、市民ニーズに対応できる多様な个性的な商業地形成のため、橋本・相模原・相模大野各駅周辺地区を中心商業地に、淵野辺・上溝・小田急相模原・東林間・古淵駅周辺地区を地区中心商業地に位置づけ、各地区で行政、事業者、住民が手を携えてまちづくりと一体となった取り組みを進めている。

淵野辺地区では平成15年度より、商店街活性化の一環として商店街の空き店舗対策と子育て支援という2つの要素を融合させた「病後児保育施設の開設、運営事業」を実施した。そして、平成16年度も引き続き同事業を実施し、更にPRを強化することで利用者の増加を図った。



相模原市の位置（相模原市HPより）

2. 事業内容

事業内容は、平成 15 年度に空き店舗を活用して設置した病後児保育施設「ぼっかぼか」を引き続き運営するものである。子育て相談や子育て関連情報の提供等を通しての地域における交流拠点ができ、商店街の来街者の増加が期待できるほか、地域住民の子育てと就労の両立支援と健全な育成に寄与するといった育児面での効果を狙いとして実施した。

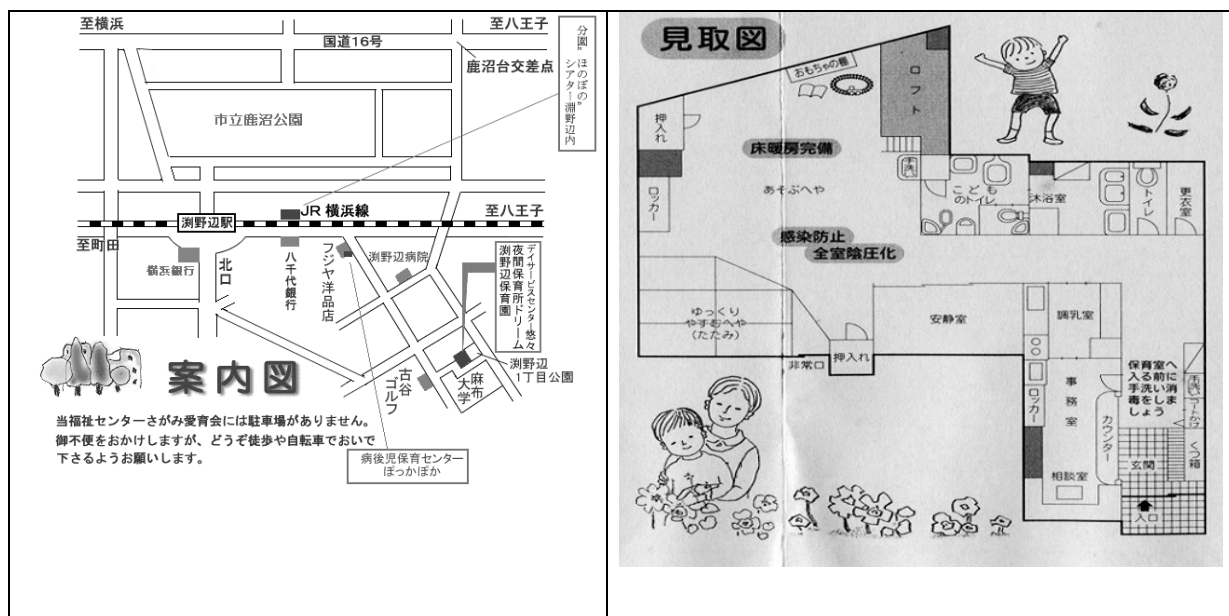
平成 15 年度事業では、「利用者増加、知名度向上」が課題として上がっており、16 年度は施設の広報活動を積極的に実施した。

(1) 病後児保育施設の概要

①施設概要

- ・名称 ふちのべ保育園病後児保育センター「ぼっかぼか」
- ・開業 平成 15 年 8 月 1 日
- ・面積 約 126 m²（概ね 100 m²部分を使用）
- ・施設 遊んだり休んだりするスペースの他、保育室、安静室、調乳室を設けている。施設内は床暖房が完備され、感染防止のため全室陰圧化している。

「施設の案内図および見取り図」



②運営主体

施設の運営は、事業の協同実施主体の 1 つである「社会福祉法人さがみ愛育会」が行った。同会は、淵野辺地区で保育所やデイサービスセンターなど社会福祉施設を設置、運営している団体で、50 年以上の長きに渡り、地域における福祉の向上に寄与してきている団体である。そのため、子育てや保育経験のある常勤看護師を確保するなど、病後児保育事業の特性に合わせた職員の確保が可能であった。

にこにこ星ふちのべ（協）、（社福）さがみ愛育会

本事業の施設には、保育士、看護師など4名が常勤している。

③対象児童

原則として、市内に居住して保育所に通い、または市外から市内保育所に通う月齢6ヶ月～就学前の児童で、病気回復期にあつてかかりつけ医師から「利用連絡票」が発行された児童が対象となる。

④保育時間

月曜～土曜 午前7時30分～午後6時30分

⑤利用者負担金額

保育料：日額2,000円

給食費：日額350円

利用連絡票発行手数料：1件1,600円

⑥定員

8名

⑦広報

淵野辺地区における施設アピールとして、商店街が開催する地域の一大イベントである「ふちのべ銀河まつり」において、会場内に子供向けのゲームコーナーのブースを設置するとともに、ステージにも出演し地域住民へアピールを行った。

また、幅広いエリアへの施設アピールとして、市内の保育園連絡諸団体、ナイトバザール等において積極的に案内チラシを配布した。

(2) 施設利用状況

施設利用状況は、下記の表の通りである。

利用月	利用延べ人数（人）		利用実人数（人）		1人当たり利用日数（日）	
	平成15年度	平成16年度	平成15年度	平成16年度	平成15年度	平成16年度
4月	—	28	—	14	—	2.0
5月	—	16	—	9	—	1.7
6月	—	62	—	22	—	2.9
7月	—	33	—	15	—	2.2
8月	13	60	8	23	1.6	2.6
9月	21	47	10	21	2.1	2.2
10月	26	46	9	16	3.1	2.9
11月	27	48	13	20	2.0	2.4
12月	35	38	15	16	2.2	2.4
翌1月	10	43	6	20	1.7	2.2
2月	33	—	15	—	1.8	—
3月	53	—	23	—	2.0	—
合計	218	421	99	176	平均2.1	平均2.3

*1ヶ月当たりの開所日数は23～26日である。

【 効 果 】

1. 商店街の認知度

平成 16 年度は積極的に PR 活動を実施したことで、広く施設の周知が図られた。また、商店街が施設をバックアップしているという認識が地域に根付き、商店街の認知度も向上した。

2. 利用者の増加

施設の受け入れ能力に沿った利用があり、1 ヶ月に 2 回以上利用するリピーターが増加してきた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 利用者の拡大

淵野辺周辺の病後児を抱える保護者が、気軽に商店街で買い物できるように「原則的に市内の保育園等に在籍している児童」という利用要件を見直し、家庭在宅児や小学生まで対象の拡大を検討する必要がある。

2. 連携強化

同事業の実施主体である 2 つの団体の連携を一層強化させ、病後児保育施設の利用者だけでなく、（社福）さがみ愛育会が運営する淵野辺保育園本園の児童が、商店街のイベントに参加する機会を増やすなど、賑わいの創出、地域コミュニティの醸成につなげていきたい。

【 関 連 U R L 】

ぽっかぽか <http://www.aiikukai.or.jp/poka/index.htm>

社会福祉法人さがみ愛育会 <http://www.aiikukai.or.jp/>

にこにこ星ふちのべ協同組合
<http://members.jcom.home.ne.jp/2525hosi/coop/coop/index.html>